



旭川市議会議員

高木ひろたか

高木啓尊市政相談室

旭川市永山 10 条 12 丁目 3-3

Tel・Fax 0166(56)3882

<http://www.takagi-hirotaka.jp>

E-mail info@takagi-hirotaka.jp

旭川市議会レポート Vol.15 2022 年 夏・秋号

国内外が不安定、

今こそ国民に寄り添う政治を

コロナ禍の夏も 3 年目。収束の気配も一向に見えず、陽性者数も過去最高を更新する現状が続いています。

一方で、これまでの外出自粛要請や飲食店の時短営業などの対策は実施せず、経済を回すことを優先とする政府の動きにより、観光の活性化、夏まつりなどイベントが開催されており、陽性者の減少傾向が鈍化している要因の一つと言えます。

世界がウィズコロナへと舵を切る中で、我が国も大きな転換期であることは理解しますが、そのためには医療崩壊を防ぐための体制構築、PCR・抗原検査体制の充実など、中長期を見据えた対策を早急に検討し、確立することが求められます。

また、世界の安全保障は非常に不安定な状況にあると言えます。ロシアのウクライナ侵攻は長期化の様相を呈し、繰り返される北朝鮮のミサイル発射事案、さらに中国の台湾周辺での大規模軍事演習など、日本を取り巻く安全保障環境はこれまでにない不安定さが増しています。日本がすべきことは、世界平和・安定のために中心的役割を果たすことであり、防衛費の増額による軍事増強ではなく、外交による世界の安全保障の構築であります。我が国の対応一つで大きく変わることから、政治の責任がこれまでにない程重要であり、国民の生命と生活を守るため数の力で物事を進めるのではなく、しっかりと議論と国民への説明を求めます。

2 期目も 4 年目となり来春は 3 期目のたたかいとなります。建設公営企業常任委員会委員長、議会運営委員会委員長など、大きな役割を担わせていただきました。そういった経験を糧に、これまで同様皆様との対話を大切に、市民の暮らしを守るために誠心誠意取り組んでまいります。変わらぬご指導をよろしく願いいたします。

高木ひろたか

～議会運営委員会～

視察のため全国から来旭



議会運営委員会の役割の一つに、旭川市議会へ全国から来旭される議会議員の皆様の受入れがあります。近年はコロナ禍で視察も自粛され少なくなりましたが、令和 4 度に入り、7 月 20 日熊本県宇土市議会から、8 月 2 日兵庫県姫路市議会より旭川市議会へ視察にお越しいただきました。

視察目的としては、宇土市は旭川市議会が取り組んでいる「議会の評価・検証」。姫路市は「本会議における質疑・質問について」委員長として私の方から説明と意見交換をさせていただきました。旭川市議会の取り組みが全国で評価いただいていることに嬉しく思います。



～ コロナ感染症追加対策 ～

収束には程遠い。本市も過去最多を更新

全国的にコロナ BA.5 系統を中心とする感染が拡大する中、北海道の新規感染者数も過去最多を更新しています。

旭川市でも 8 月 8 日に 555 人の過去最多の新規感染者数を確認しました。感染防止対策と社会経済活動の両立をめざす政府の方針により、これまでの強い行動制限がなされず、旭川市においても 3 年ぶりの旭川夏まつりを開催やお盆の時期の帰省など人の移動が活発化することで、感染者数や入院患者数が更に増加することも懸念されます。

大都市圏などでは第 7 波もピークを迎えたと言う報道もありますが、高止まり状態が続くとともに、新たな「BA.2.75」がどのような影響を及ぼすか心配なところ です。

いずれにしても、収束にはまだ程遠く今一度日頃の感染予防対策の徹底が重要であります。本市において、これまでもコロナ感染症に関する対策を講じてきました。本市の現状を踏まえ、9 月開会の第 3 回定例議会において、第 4 次追加対策について審議を行う予定です。「うつらない。うつさない」の徹底をお願いします。

4 回目のコロナワクチン接種も始まっています。

ヒグマの出没が増加！「ひぐまっぷ」の活用を

近年、札幌市など道内各地で市街地にヒグマが出没する通報が多くなっています。旭川市内においても、ヒグマの出没に関する通報件数が増えており、ヒグマと遭遇する可能性も高まっています。「ヒグマ出沒注意」の看板がある場所では、ヒグマと遭遇する危険性があり、この看板がある付近では、十分注意してください。

また、ヒグマの行動圏が徐々に市街地・住宅地に近づいています。人の食べ物や農作物などに執着して人家付近に出没を繰り返すヒグマは、残念ながら危険個体として駆除の対象となってしまうます。

人とヒグマの共存のため、安易なゴミ捨てなどで人為的に危険個体としないため、みんなで気をつけましょう。

旭川市内及び周辺町のヒグマ出沒状況は、「ひぐまっぷ」で確認してください。

【ひぐまっぷアドレス】

higumap.info/map/204/2022

～東旭川～ 護岸工事が進む中、再びペーパン川が氾濫

東旭川ペーパン川は平成 28 年、30 年に氾濫し、その対策のための治水向上護岸工事が進められている中、6 月 28～29 日にかけての大雨で河川が決壊。住居、農地への被害の一報を受け、すぐに現地へ向かいました。決壊により川の流れが変わり、ビニールハウスや住宅に水が押し寄せ言葉を失う状況です。地球温暖化や気候変動などにより近年北海道においてもゲリラ豪雨の頻発で深刻な洪水被害が増えています。治水対策の強化をはじめ様々な環境保全の取り組みが必要です。今回の決壊による被害については、北海道の方で補償する方向で現在精査中。

また、大雨のたびに浸水被害が生じる永山 12 条 1 丁目周辺についても当日状況確認しました。早い段階でのポンプ車の出動など市の対応により道路への浸水もありませんでした。

被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。



決壊により住宅・農地が川に



ポンプ車 2 台が出動 (永山)